

中野区帰宅困難者対策訓練及び中野区総合防災訓練の実施結果について

1. 中野区帰宅困難者対策訓練

(1) 実施日時

平成29年10月12日(木) 午前10時～10時30分

(2) 訓練会場

中野区役所、中野駅、東中野駅、中野サンプラザ、なかのZEROホール、
West53rd 日本閣

(3) 訓練参加者数

一般参加者	125名	
視察者	6名	
中野区帰宅困難者対策協議会委員	62名	(※内訳は下表のとおり)
区職員	32名	
合計	225名	

(中野区帰宅困難者対策協議会委員内訳)

中野警察署	2名	野方警察署	3名
中野消防署	4名	野方消防署	1名
東京商工会議所	1名	東日本旅客鉄道株式会社	4名
学校法人帝京平成大学	10名	西武鉄道株式会社	1名
株式会社中野サンプラザ	3名	JN指定管理者共同事業体	21名
東京都中野都税事務所	2名	株式会社丸井	1名
三井不動産ビルマネジメント株式会社	1名	日本閣観光株式会社	5名
本三宮前防災会	3名		
		合計	62名

(4) 訓練内容

① 情報提供ステーション開設・運営訓練（中野駅、東中野駅）

- ア 情報提供ステーションの設置
- イ 防災行政無線（移動系）による区災対本部との通信
- ウ 来街者への情報提供
- エ 一時滞在施設への避難誘導

② 一時滞在施設開設・運営訓練（なかの ZERO ホール、west53rd 日本閣）

- ア 防災行政無線（移動系）による区災対本部との通信
- イ 資機材の運搬及び設置
- ウ 帰宅困難者の受入れ、名簿作成
- エ ホワイトボード等による情報提供、物資配布

(5) 訓練風景

①情報提供ステーションの設置 （中野駅北口）



②情報提供ステーションの設置 （東中野駅西口）



③一時滞在施設受入れ（なかの ZERO）



④一時滞在施設受入れ（なかの ZERO）



2. 中野区総合防災訓練

(1) 実施日時

平成29年11月12日(日) 午前9時～12時

(2) 実施地域及び主会場

鍋横地域 各防災会の会場及び区立第二中学校

(3) 訓練参加者数

合計 600名(各防災会等343名・関係機関等257名)

(4) 訓練の内容

①初期対応訓練(各防災会の会場)

初期消火訓練(スタンドパイプ・消火器)、搬送訓練、避難訓練など

②参加者体験訓練(第二中学校会場)

消火器的当て、救出救助体験、目隠し誘導、車いす体験、防災グッズ借り物競争、避難所資機材操作体験、起震車体験、煙ハウス宝探し、防災もの作り体験、防災大声コンテスト、のこぎり体験、記念撮影など

(5) 訓練参加機関参加者数内訳

訓練参加機関	参加人数
6 防災会、一般参加者	303
中野区福祉団体連合会	34
赤十字奉仕団鍋横分団	6
地域防災住民組織等（小計）	343
中野区	75
中野警察署	9
中野消防署	20
中野消防団	36
東京都水道局	10
陸上自衛隊	8
(株)NTT東日本	6
東京ガス(株)	2
東京電力パワーグリッド	2
東京下水道局	8
鍋横区民活動センター運営委員会	2
地区民生児童委員協議会	5
中野区医師会	9
中野区薬剤師会	4
中野区獣医師会	7
東京都トラック協会	3
中野建設まちづくり協議会	22
社会福祉協議会	6
東京土建	5
ドコモCS	4
東京コロニー東京都葛飾福祉工場	1
河村電器産業	1
造園緑化業協会	12
関係機関等（小計）	257
合 計	600

(6) 訓練の様子

①初期対応訓練

消火器操作訓練



スタンドパイプによる放水訓練



②参加者体験訓練

起震車体験



のこぎり体験



救出・救助体験 (ジャッキアップ)



消火器的当て体験

